

「人・社・祭—文化風土の記録」

講演会・上映会のご案内

日時：令和5年2月18日（土）14:00開演（開場13:30） - 16:30

会場：國學院學 渋谷キャンパス 國學院大學学術メディアセンター
(AMC)棟1階常盤松ホール

入場：参加無料 定員150名（申込不要）

プログラム

講演：「全国各地の御神木から見えてくるもの」

講師：松本 滋
(神社新報社記者)

プロフィール

松本滋：昭和36年神戸市生まれ。昭和60年国学院大学文学部神道学科卒業の後、株式会社神社新報社入社。以来、記者として全国の神社を取材。平成14年には国学院大学大学院であらためて神道学を専攻し、博士課程前期を修了。同社編集長・関西支局長を歴任。著書に『全国 神社味詣』丸善出版（2011年10月刊）、伊勢の神宮の広報誌『瑞垣』にも、「神々と食物」を連載している。

上映：「神の木 神の森」

(NPO 法人社叢学会、2005年製作、17分)

巨木や御神木に掛けられた注連縄。神宿る木に靈気を感じ、その大きな力を信じ、様々な儀礼や神事、祭りを伝えてきた。また入らずの森と呼ばれる能登の古社気多大社の森の中での神事、大和の三輪山をめぐり歩く大晦日の火祭り、人間の一生を四季の樹木に譬えて描く『歡心十界曼荼羅』の世界。古くから続く信濃の諏訪大社の御柱祭。古代からの木への信仰と神の森の聖性、その価値を問う作品。



[交通アクセス]

- ・渋谷駅（JR山手線・地下鉄・京王井の頭線・東急各線）から徒歩約13分。
- ・渋谷駅（JR埼京線）新南口から徒歩約10分。
- ・都営バス（渋谷駅東口バスターミナル54番のりば学03日赤医療センター行）「国学院大学前」下車。約10分（運賃180円・IC175円）

共催：公益財団法人ポーラ伝統文化振興財団／國學院大學環境教育研究プロジェクト
國學院大學共存学プロジェクト／NPO 法人社叢学会